

別記1

# 業務概要書

## 1 業務概要

- (1) 業務名  
双葉地区特別支援学校移転新築工事設計委託
- (2) 業務箇所  
双葉郡檜葉町大字井出字上ノ岡 地内
- (3) 業務箇所に関する管内  
相双建設事務所管内

### 【位置図】



## (4) 業務内容

- ① 種別                    建築設計
- ② 業務内容              校舎等の建設工事に係る基本及び実施設計  
計画規模    校舎            3階建て    延べ面積 7,310m<sup>2</sup> 程度  
                 屋内運動場    平屋建て    延べ面積 860m<sup>2</sup> 程度
- ③ 工期 (予定)            令和3年7月～令和4年10月 (470日間)

## 2 業務の背景・目的・課題等

### (1) 業務の背景

双葉地域にある富岡支援学校は、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により、いわき市内に避難を余儀なくされ、現在も避難は継続している。小学部は聴覚支援学校平校内に仮設校舎を設置し、中学部及び高等部は四倉高校の校舎一部を間借りする形で、学校運営を行っている状況にある。

### (2) 業務の目的

富岡支援学校の学校運営を早期に双葉地域内で再開させるため、また避難地域の教育の復興と住民の帰還をより促進させるため、双葉地区の関係機関との調整を経て、新たな場所に特別支援学校を整備するものである。

### (3) 業務の課題

- 建設地は旧檜葉北小学校跡地であり、龍田神社に隣接するなど檜葉町にとっても重要な場所である。また、特別支援学校を整備するにあたり、小学校用地であったことから、校舎及び屋内運動場のほか、駐車スペースやグラウンドを計画しており、決して用地に余裕がある広さではないと言える。
- 双葉地域の特別支援教育の拠点として、子育て支援や就学前などの相談研修を行う地域のセンター的機能が発揮できる施設整備が求められる。
- 個々の障がいの状態や発達の段階に合わせた多様な指導形態が必要となるなど特別支援学校特有の条件があり、安全性及び快適性を確保した上で、これらの課題解決に向けた工夫が求められる。
- 学校施設においてもエネルギー消費コストの低減や自然環境への配慮が必要であり、建設費や維持管理費の低減を図った計画が求められる。

## 3 評価テーマ

- (1) 狭小敷地における配置計画に配慮し、かつ周辺環境との調和を考慮した具体的な提案
- (2) 地域に開かれた特別支援学校として、良好な教育環境の向上に資する具体的な提案
- (3) 学校施設の長寿命化を図るため、ライフサイクルコストの低減及び維持管理の容易性を考慮した良好な教育環境の確保に資する具体的な提案
- (4) 特別支援学校の児童生徒が学校生活を送る上で、必要となる安全確保に資する具体的な提案
- (5) その他の有効な着眼点とその有効な対策の提案